

2021年度 後学期
文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)認定
「保育・子育て支援ラーニングプログラム」シラバス
(お茶大 ECCELL 社会人プログラム)

【後学期】

基礎科目：乳幼児の暮らし A/B

シラバスに関する問い合わせ先 ECCELL 事務局 nyuyoji-reply@cc.ocha.ac.jp

乳幼児の暮らし A/B

日程：A：2021年10月27、11月10、24日（18:30～20:30）3回

B：2021年12月1、8、15日（18:30～20:30）3回

「乳幼児の暮らし」は全6回、Zoomによるオンライン授業で行いますが、前半3回（A）、後半3回（B）だけの受講もできます。

※「乳幼児の暮らし」は、BP認定科目「乳幼児の世界Ⅱ」と同じ科目(内容)で、現在名称について変更申請を行っております。2020年度前学期以降にBP登録し、履修証明書取得を考えている方は、両方とも受講してください（BP基礎科目：12時間）。

担当：宮里 暁美（お茶の水女子大学 寄附講座教授）

主題と目標

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領では、0歳児～5歳児までの発達を見通した保育カリキュラムおよびカリキュラムマネジメントの重要性が強調されている。発達の連続性に根ざしたカリキュラムを作成していく上で重要なのは発達の理解であり、人が生きるということへのまなざしの深さだと考える。その際に重要なキーワードとして「暮らし」に着目したい。「暮らし」の中で、生きるということの喜びやうれしさ、葛藤や意欲、自立や連帯を育まれていく。

本授業は「暮らし」という視点から、子どもの世界の探究と理解を行う。住む・食べる・眠る・飾る・遊ぶなどの視点で「暮らし」を捉え、子どもの姿を紹介し合いながら考察を深める。子どもの姿、受講者自身の体験、文献からの学び等について対話し考察することを通して、豊かで確かな育ちを支える「暮らし」的アプローチの可能性を探ることを目的とする。

教科書・参考図書

授業で紹介する。適宜レジュメや資料を配布する。

授業計画

【乳幼児の暮らしA】

- ① 講義・対話 乳幼児の暮らし：お茶大こども園の実践から見えてくる「食・創・遊」
- ② 講義・対話 乳幼児の暮らし：アートの視点で考える
講師：丸山素直先生（東京藝術大学 美術学部デザイン科 非常勤講師）
- ③ グループワーク・発表 「居心地のよさ」をかたちにしてみたら・・・

【乳幼児の暮らしB】

- ④ 講義・対話 乳幼児の暮らし：お茶大こども園の実践から見えてくる「紡がれるもの」
 - ⑤ 講義・対話 乳幼児の暮らし：暮らしの中の行事「冬至」「お正月」に焦点をあてて
講師：すとうあさえ先生（絵本作家）
 - ⑥ グループワーク・発表 「暮らし」的アプローチをかたちにしてみたら・・・
- 授業の前に課題を提示することがある。

学生へのメッセージ

保育の実際について、語り合い学び合う機会になればと願っています。自由感を大事にし、受講者の皆さんと作り上げる授業にしていきます。